

子どもと女性の 健康相談室

59



福島医大ふくしま子ども・女性医療支援センター特任教授
神保 正利氏



近年、助産師の仕事として注目されている助産師外来は正常に経過する妊婦さんを対象に助産師が医師に代わって妊婦健診を行い、さらに保健指導を行う外来です。助産師外来が普及した背景には産科医師不足へ

助産師外来

り組む施設が増えたことによって行う時期（妊娠週数）や内容は異なりますが挙げられます。助産師外来は分娩（ぶんべん）を取り扱う全ての医療機関に採用されているわけではありません。また、助産師外来は医療機関

人科では妊娠二十八週の診察で異常がなく、妊婦さんの希望があれば、それ以降は医師による妊婦健康診査と助産師外来を交互に行います。助産師外来で行う超音波検査は赤ちゃんの異常を診断するためではなく、妊婦さんと一緒に元気な赤ちゃんをゆっくり観察するためのコミュニケーションツールとして用いられます。そして保健指導では妊婦中の生活、栄養と体重管理、妊娠週数に応じた注意点などについてお話しします。

安全な出産に向けて

また、妊婦さん自身がどういった出産をしたいのかという希望を聞きながら具体的な計画をたてる「バースプラン」についても助産師と一緒に考えてていきます。

助産師外来は一人当たり三十～六十分の時間をとりますので分からず、助産師外来は医療機関で異常がなく、妊婦さんの希望があれば、そ

超音波検査で赤ちゃんの状態を確かめる

助産師による保健指導の様子

産師が気になる点や異常を疑った場合にはすぐに医師に相談できるようになっておりますので安心して受診していただけます。

出産での入院中で最も近い存在となるのが助産師です。その助産師と妊娠中から関わりを持つことで信頼関係が向上し、安全で安心かつ快適な出産につながると思いま